

ジェイアールバス東北本部

第4号

2022年9月1日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内

NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983

発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

人材流出を防ぎ、雇用と職場を守り抜くためのJR東労組バス東北本部緊急提言

～大切な仲間を失わないために、魅力あるジェイアールバス東北会社をつくり出そう！～

2020年2月以降、急速に拡大した新型コロナウイルス感染症によって、ジェイアールバス東北会社は3期連続の赤字となり、依然として厳しい経営環境が続いています。JR東労組バス東北本部は、このコロナ禍や深刻な要員不足の中でも国道47号線トンネル工事に伴うJR陸羽西線代行輸送や豪雨被害によるJR磐越西線をはじめとした代行輸送を担いながら、収入の確保に向けた議論をつくり出しています。

しかし一方で定期昇給のカットや期末手当の減額による大幅な収入減により組合員・社員の生活は逼迫しており、会社の将来に不安を感じ退職という選択をする社員が後を絶ちません。止まらない人材流出は、長時間の拘束や休日勤務の多発を生むだけでなく、職場雰囲気悪化から更なる人材流出に繋がる恐れもあり、コロナ収束後も影響を及ぼす事態となりかねないことから、今後の会社経営の根幹に関わる重大な問題であると捉えています。このような状況で迎えた2022年度夏季手当のたたかいでは、全分会が一体となり職場からのたたかいをつくり出し、最後の最後まで組合員の生活実感と労働実感を訴え、満額回答を強く求めてきました。しかし会社回答は、赤字を理由に1.6ヶ月と要求から大きくかけ離れたものとなりました。私たちは3期連続の赤字を認識しながらも、このままでは人材流出に歯止めが掛からないという危機感から、妥結をせずに組合員とともに職場現実や会社姿勢など、夏季手当の会社回答について真剣に議論してきました。緊急申し入れを行い妥結の判断をしましたが、決して納得して妥結したわけではありません。

今こそ会社の将来を見据え、批判だけではなく、職場から人材確保と労働条件向上の実現に向けた議論を加速させ、安全で働きがいのある職場をつくり出していかなければなりません。JR東労組バス東北本部は、今後も職場現実と組合員・社員の声を最大限訴えるとともに「安全」を最大の価値基軸に会社施策に向き合っていきます。そしてこれ以上、大切な仲間を失わないために、苦しい状況の中でも職場で汗を流し、奮闘し続けている組合員・社員が残って良かったと思えるジェイアールバス東北会社の実現に向けて、「協力すべきは協力し、言うべきことは言う」姿勢で、労使でこの難局を乗り越えていくことを目指します。

JR東労組バス東北本部は、これ以上の退職者を出さないために魅力ある会社と私たちの雇用を守り抜くため以下の提言を全組合員に提起します。

緊急提言

1. 「新生JR東労組運動宣言」を全組合員で取り組もう！
2. これ以上の退職者を出さないために、全組合員で魅力あるジェイアールバス東北会社をつくり出す議論を展開しよう！
3. 雇用不安のない安心で「安全・健康・ゆとり」と働きがいのある職場をつくり出していこう！
4. 新型コロナウイルスに「感染しない・させない」ことも含めて、安全を守ることを最大の価値基軸に捉えて会社施策に向き合おう！
5. ジェイアールバス東北会社の健全な経営基盤を構築するため、全組合員自ら様々な提案をしていこう！
6. 各職場の過半数を確保するため、JR東労組への再結集を呼びかけよう！
7. 1項から6項までを職場で実践し、安定経営を通じた組合員の雇用と生活を守る職場議論を展開しよう！

2022年 9月 1日
東日本旅客鉄道労働組合
ジェイアールバス東北本部

全組合員で緊急提言を読み合わせ職場で議論を深めよう！